



まちとむらをつなぐ

# ぷらっとほーむ

4号

## ★トップニュース★

### いなかとまちの文化祭

12月1日(日)、昨年度好評いただいた都市と農山村を結ぶイベントの第2弾「いなかとまちの文化祭～こころを耕す暮らしのマルシェ～」がとよたのまちなか(シティプラザ/ペDESTリアンデッキ)で開催されました。いなかとまちが支え合う“暮らし満足都市”をめざし、いなかを中心に活動する団体がまちなかに出向き、農山村の魅力をアピールしました。



朝市でも人気の農家や作家が出展するとあって、マルシェが開かれているシティプラザでは開始前からお客さまがたくさん！昼のピーク時には行列のできる場所もあり、山遊里のソーセージ、kohaのパン、とうふ屋しろの豆腐、日和のおにぎりなど完売続出！なかでも旭地域会の豚汁は150食が午後1時には完売で大盛況でした！



ベDESTリアンデッキで行なわれたORiiBUさをり織、森の女子会ミニクリスマスツリーづくりや、矢作川水系ボランティア協議会の木の実を使ったウッドクラフトなども盛況で、ワークショップの順番待ちのお客さまもみられました。中でもシティプラザで行なわれた千年持続学校の「建前ごっこ」では、2畳分のスペースに実際におうちを建ててしまおう、というもの。参加した子どもたちの槌を打つ真剣な表情と完成したときの喜びの表情がみられ、見学に来ていた太田市長も興味津々。「是非来年もやってほしい」と楽しんでいかれました。



今回は「まちなか野外音楽祭」と同時開催のため、ペDESTリアンデッキのステージでは、ら・びーた、豊田東高校合唱部、葉根羽音、やじい from かむあそうトライプスのLIVEがあり、暮らしと森の息づく音楽が奏でられ、とてもピースフルな空気に包まれていました。また、シティプラザでは、豊田東高校吹奏学部、笑劇派、kecotico、Star☆T野良着ファッションショー、生涯書道風上会パフォーマンス書道、グリーンママンクロストーク、いなかとまちのシンポジウムなど、これからのいなかを楽しくするようなステージが開かれ大盛り上がりでした！

今回はピーク時で千人が来場し、午前10時の開始から午後3時の終了までで数千人の方々が訪れてくださいました。参加団体のみなさま、ボランティアのみなさん、いなかとまちのお客さま、みんなが笑顔で帰っていかれました。今回をきっかけに、いなかとまちの新たな交流も生まれたら嬉しいです♪

### ★出展者★

おいでん・さんそんセンター/愛知県交流居住センター/アグロ・ブルータ/耕 Life 編集部/ORiiBU/矢作・森の女子会/矢作川水系森林ボランティア協議会/greenmaman/ジョイナスえかく/オンリーワン/コレカラ商店/koha/とうふ屋しろ/日和/Three trees+ (アンティ・マキ、こころざし工房、Miki-Co-Labo) /てくてく農園/松本自然農園/いのはな農園/近藤しいたけ園/first-hand/anam/つきあかり/ふくしまのみんな！遊びにおいでんプロジェクト/豊田地域猫の会/こけぐらし/naare/山里ちゃふえ・アトリ/NPO法人都市と農山村交流 スローライフセンター/とよた都市農山村交流ネットワーク/旭地域会/手づくり工房山遊里/御立町にここ農園/千年持続学校/認定NPO法人日本グッド・トイ委員会/手廻しおるがんかごやか

## ★活動報告★

### 原木しいたけ収穫と自然薯すりおろし体験

11月17日（日）、生協体験プログラムの第2弾が行われました。

今回のプログラムは旭観光協会と笹戸温泉振興会のご協力を得て、「笹戸温泉じねんじょ・もみじまつりのプレミニイベント」に乗せて、トヨタ生活協同組合と共においでん・さんそんセンターが企画。募集人数50人のところ、応募者はなんと59世帯195人。その中から抽選で17世帯51人の方に参加していただきました。

会場脇に並べられた原木。そこに生えている、ふだんスーパーで見かけているものの倍もある大きく肉厚な原木しいたけに子どもたちも大はしゃぎで、わきあいあいと収穫を楽しんでいる姿がみられました。自然薯すりおろし体験は、強い粘りと豊かな風味を特徴とする旭特産「夢とろろ」を自分たちですり、すりたてのとろろを麦ご飯でいただくというもの。みなさんおかわりして大満足の様子でした。会場では、昭和の名車展示やふるまい焼き芋・餅つき体験・LIVEに紅葉ウォークなども開催され、「是非また来年も来たい」とみなさん笑顔で帰っていかれました。



### 豊森なりわい塾 第6回講座 『地域の資源を考える～食と農～』

11月9-10日、豊森なりわい塾第6回講座が行われました。

**1日目** 太田町で開催された「福蔵寺ご縁市」へお邪魔しました。五平餅・芋煮・ジャム・パン・ケーキに農産物の販売・マッサージやライブまで盛りだくさん！塾生みんなお腹いっぱい食べ、買い、秋の食を満喫していました。午後はグループに分かれて地域のおじいさんやおばあさんへ聞き取り。生まれてから今まで、どのように食生活が変わっていったのか。農業中心の生活から、1960～70年代以降、トヨタ自動車へ働きに出る人が増えたころから食生活は少しずつ変わっていった、という興味深い変遷の話を聞くことができました。

**2日目** 午前中は前日のグループワーク発表を行い、午後からはIターンで旭地区に移住した（株）M-easy 戸田さんとのトークセッション。進路を考える時代から学生時代の会社設立、また「若者よ田舎をめざそうプロジェクト」（2009）で旭に入り、移住し現在に至るまでの経緯をお話し下さいました。若くして田舎での生活を選んだ戸田さんが農業を中心としてどのように生活しているか、いかに興味ある塾生たちはみな興味津々の様子でした。

『「何もしなくていい、居てくれるだけでいい」と地域の方に言われたことで、地域に認められた感じがした』という戸田さんの言葉がとても印象的でした。

### 「豊森なりわい塾公開講座～加子母に学ぶ地域づくり～」

11/24（日）、豊森なりわい塾公開講座が開かれ、中島紀于氏（株式会社中島工務店代表取締役）、粥川眞策氏（前加子母村村長）の公演が行われました。

**中島氏** 無い無いづくしの村で「食ってく」為に「自分で何でもやってやる」からこそ、皆で互いに助け合う関係があり、儲からなくても人生をかけて仕事に取り組んでいる。加子母に暮らす人がいなくなると、加子母の自然を守る為には税金を幾らつぎ込んでみても足りない。自然を守るDNAを持った加子母人が暮らし続けられるように取り組んでいる。

**粥川氏** 村づくりは人づくり。「良く学び良く遊び」良く学びは大人の知識、良く遊びは子どもの知恵。子どもの知恵を持った大人を育てる事が必要。都市の人が来ると、田舎がより田舎らしくなる。など、様々なキーワードが散りばめられた講演でした。



# 参加者募集

## 豊田市農商工連携・6次産業化勉強会

- 日 時：12月19日（木）午後3時～午後4時30分
- 場 所：豊田商工会議所 2F 多目的ホール ※駐車場は、豊田市中心市街地3時間駐車無料パーキング「フリーパーキング」をご利用下さい。
- 内 容：『ヒット商品を生み出す感動設計』  
商品開発のポイント「期待×感動×記憶」から、お客様が感動するための仕組みづくりについて 講師 ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社 品質保証部部长 加藤幸久氏
- 参加対象者：「第4回とよた食と農ビジネス交流会」出展・参加予定者、市内農林水産物を活用した農商工連携・6次産業化を実施・検討している方
- 参加費：無料
- お申込み：事業所名（担当者名）・参加人数・住所・TEL・FAX・E-mailを記入の上、下記まで。  
豊田市産業部農政課企画担当 Tel：0565-34-6640 Fax：0565-33-8149 E-mail：nousei@city.toyota.aichi.jp

## 松平郷年末もちつき大会

- 日 時：2013年12月28日（土）午前10時～午後3時  
（雨天決行）
- 場 所：松平郷まつり広場（松平東照宮西側）
- 内 容：昔ながらのやり方で蒸した餅米2升分を杵と石臼でついて餅にします。
- 参加費：3500円
- 持ち物：調理用ポウル
- 申込み：受付期間／12月5日（木）～20日（金）  
申込方法／参加費3,500円を添えて下記迄。
- 定 員：先着120名
- その他：●ついた餅はその場で食べることも、持ち帰ることもできます。  
●あんこ・きな粉は当日販売もしています。  
●ふるさと市場にて、新鮮な野菜・惣菜・新米（ミネアサヒ）の販売があります。
- 問い合わせ・予約受付 12月5日（木）～20日（金）  
◎松平郷館（松平東照宮横）水曜定休 午前10時～午後3時  
TEL 0565-58-3033  
◎豊田市観光協会（豊田市役所西庁舎7階商業観光課）土・日曜日休み 午前8時30分～午後5時15分 TEL 0565-34-6642

## 「産土 UBUSUNA」上映会 トム・ヴィンセントトークショー

- 日 時：2014年1月25日（土）午後2時～午後4時30分  
（開場：午後1時）
- 場 所：豊田市美術館 講堂
- 内 容：「産土」…或る土地のことであり、またその土地の守り神。人が生まれる前から死んだ後まで、その人のことを守り続けると信じられている。長岡参監督作品「産土」には、自然とともに生きてきたかつての日本人の暮らしとそこに息づく知恵や文化、また同時にそれらが失われつつあるという現実が、美しい映像によって表現されています。上映会と編集・監督者のトム・ヴィンセント氏のトークショーを開催し、「アートと社会を結ぶ」ことの意義や効果について意見交換を行います。
- 入場料：500円（美術館常設特別展観覧料【1月7日～】を含む）  
※中学生以下無料  
※市内高校生、障がい者、市内75歳以上無料（要証明）
- 定 員：150名
- 問い合わせ・予約受付：①とよたデカス・プロジェクト事務局窓口（月～金、午前9時～午後5時、土日祝除く）②T-FACE B館2階 インフォメーション（営業時間内）③メールまたはFAX（代表者名、連絡先、チケット枚数、無料整理券枚数明記） ■メール：  
[info@decasu.jp](mailto:info@decasu.jp) ■FAX：0565-34-6766  
※無料対象者は整理券をお申し込みください。
- 主催：豊田市 豊田市教育委員会 豊田市美術館

## こどもの遊びとこどもの居場所

- 日程：2014年2月1日（土）
- 場所：とよた視聴覚ライブラリー
- 《1部》「子どもにとって遊びってナニ？～すべての子どもたちに～」午前10時～午後12時 場所：3階集会室
- 《2部》「子どもの居場所ってどんなトコロ？～思春期からおとなへ～」-だごっこパーク・おもしろ荘での日々を通して-午後1時30分～午後3時30分 場所：2階第1会議室
- 講師：渡辺達也さん
- 内容：「子どもたちに必要なのは日常のなにげない時間」。あらゆる子どもたちの「居場所」…。「居場所」ってなんだろうね？「何気ない時間」ってなんだろうね？ たっちゃんの話聞きながら、一緒に考えていきませんか？ 子ども=全ての私たち、として。
- 参加費：各回500円（資料代）
- 申し込み・お問い合わせ Tel：090-1109-0038  
Email：[m-toki.0728@ezweb.ne.jp](mailto:m-toki.0728@ezweb.ne.jp)（近藤）
- 主催：とよたプレーパークの会 【ブログ】 [tppk.exblog.jp/](http://tppk.exblog.jp/)

## ★センター及び関係団体のイベントスケジュール★

### ● イルミネーションストーリーinとよた 2013

日時：11月16日（土）～1月26日（日）/場所：豊田市街地一帯

### ● 松平郷年末もちつき大会 日時：12月28日（土）午後10時～午後3時/場所：松平郷まつり広場（松平東照宮西側）

### ● 足助屋敷の正月遊び 日時：2014年1月3日（金）～5日（日）午前9時～午後5時/場所：三州足助屋敷

### ● 足助八幡宮七草粥 日時：2014年1月7日（火）午前11時～なくなり次第終了/場所：足助八幡宮

### ● グリーンママン朝市 日時：2014年1月9日（木）午前10時～/場所：タキソウ家具本店

●

### ● 松平郷春の七草粥を味わう会 日時：2014年1月7日（火）午前9時30分～午後2時/場所：松平郷まつり広場

### ● ほんわか里山交流まつり～里山をフィールドに活躍する団体と市民の手づくり交流まつり～

日時：2014年3月23日（日）午前10時～午後2時30分/場所：笹戸温泉（豊田市笹戸町）

「いなかとまちの文化祭」

店舗をまわってシールを集めてできる「地産地消わなげ」で、167組の方が葱をGetしていかれました！  
葱は豊田産（販売・夢農人）です！



### ★ スタッフ ★

センター長 鈴木辰吉

コーディネートスタッフ 安藤里恵

西田又紀二（ゆきじ）

### おいでん・さんそんセンター

〒444-2424

豊田市足助町宮ノ後26-2

（足助支所内2階）

TEL 0565-62-0610（直通）

FAX 0565-62-0614

mail [sanson-center@city.toyota.aichi.jp](mailto:sanson-center@city.toyota.aichi.jp)

<http://www.oiden-sanson.com>

## おいでん・さんそんセンターを支える仲間たち No.3

### 旭木の駅プロジェクト

旭木の駅プロジェクトでは、「軽トラとチェーンソーで晩酌を」を合言葉に、地域の間伐材が集められ、旭地域内の商店で地域通貨モリ券に交換して、流通する仕組みを運営しています。

実行委員のメンバーは、地域の山主、店主、1ターンの若者、研究者、NPO、行政で構成されています。「自分たちの旭地域を自分たちの力でよくしていきたい。」そんな想いを木やモリ券にのせて活動しています。

平成22年度の社会実験から始まり、現在では登録出荷者51名、商店30店と着々と輪が広がってきています。一方で、厳しい懐事情をどう乗り切っていくか、どう継続的に出材していくか、どうしたらもっと地域内でモリ券が流通するのか、課題は山積みです。ただ、その課題をどうクリアしていくのが地域づくりの醍醐味でもあります。少しでも山がきれいになり、少しでも地域の商店が元気になり、暮らしやすい旭地域にしていくために、私たちは取り組んでいます。

最後に、運営を支えるための寄付も随時募集しています。旭木の駅プロジェクトの趣旨にご賛同いただける方は、事務局会計担当（戸田友介・y-toda@m-easy.co.jp）までご連絡下さい。ぜひ、あたたかい支援のほどよろしくお願いいたします。

〒444-2816 豊田市杉本町三斗成1-3

TEL：0565-68-1113

E-mail：[nosanson@hm10.aitai.ne.jp](mailto:nosanson@hm10.aitai.ne.jp)

実行委員長：高山治朗

おいでん・さんそんセンターは、都市と農山村の交流をコーディネートする豊田市の取り組みです。